

国際ロータリー第2730地区

# 高鍋ロータリークラブ 会報



会 長 武末 喜久治

副会長 藤本 範行

幹 事 青木 善明

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

例会場 ホテル泉屋 2F

事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4  
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

## 第 1854 回 平成 26 年 10 月 9 日プログラム

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. 点 鐘        | 7. BOX披露   |
| 2. ロータリーソング   | 8. 各委員会報告  |
| 四つのテスト        | 9. 外部卓話    |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 10. 次週例会案内 |
| 4. 会長の時間      | 11. 点 鐘    |
| 5. 幹事報告       |            |
| 6. 出席報告       |            |

2730 地区ガバナー 田中 俊實

中部分区ガバナー補佐 押川 弘巳

RI テーマ・第 2730 地区テーマ

『ロータリーに輝きを』

高鍋ロータリークラブテーマ

『クラブの活性化』

10 月の月間テーマ

職業奉仕月間・米山月間

## 本日の例会案内

- \*外部卓話—新田原基地司令 尾崎義典様
- \*血圧測定

## 次週例会案内；10月16日（1855回）

- \*外部卓話—高鍋警察署 松下吉晴様
- \*プログラム委員会

## 第 1853 回 例会内容

### ■会長の時間

長野岐阜両県にまたがる御嶽山の噴火で約 40 時間索再開され、心肺停止状態で倒れていた遭難者 35 人が搬送されましたが全員死亡ということで、噴火による死者は 47 人となり火山災害の死者としては雲仙・普賢岳の被害を上回り戦後最悪の惨事となりました。心より哀悼の意を表します。

さて、先週は国際ロータリークラブ第 2730 地区田中俊實ガバナーをお迎えしての公式訪問でした。長時間にわたりましたがお疲れ様でした。また、その日の夜は 18 人の出席で鍋倉さんの店「春爛漫」で出席委員会担当の炉辺会合が行われました。公式訪問の打ち上げではなかったんですが大いに盛り上がり、2 次会もほとんど参加で飲み過ぎの方続出でしたが翌日は大丈夫だったのでしょうか。楽しい夜でした。

2 日後の 27 日の土曜日は石田年度からの未来の夢計画の障害者サーフィン・ミニラグビーでしたが朝から雨でした。7 時ころには雨がやみ実施か中止かの決断に迷い、とにかく現地判断ということになりました。

### 会長 武末喜久治君



海に行ってみると、天気はともかく海が台風 18 号の余波で荒れておりライフセーバーの東川さんの助言もあり危険ということで、中止と決定しました。会員の方にも朝早くから集まっていたいただきましたが、来年の 5 月頃に再度企画となりました。福本君に担当してもらい、計画から各施設との調整、弁当の手配までやっていただき大変苦労されたと思います。残念でしたが、大いに感謝しています。岩切君には椅子やテントの運搬ありがとうございました。尚、テントは今回のイベント用に高鍋ロータリークラブの名前の入ったテントを購入しましたので野外のイベントの時は使いたいと思います。余談ですが道北君に作ってもらった弁当はすでにできあがっておりますので、参加予定だった施設、ライフセーバーの方に配りました。私もいただきましたが大変おいしかったことを付け加えておきます。

さて今月は職業奉仕月間と米山月間です。今日は職業奉仕に関する話をさせていただきます。

職業奉仕はロータリーの金看板とも言われている一方で、難しくよくわからないとも言われています。もちろん私も地区の研修会には参加せず、ロータリーの友を拾い読みする程度ですから到底人前で講義できるほどの深い知識は持っていません。ロータリーアンの書かれた文章や本を読んで漠然と理解している程度ですからご容赦ください。もともと親睦と会員の物質的相互扶助団体であったロータリーに新しい経営学に基づく奉仕理念を提唱したのはアーサー・フレデリック・シェルドン（1868

～1935 明治元年～大正10年)です。シェルドンはミシガン大学の経営学部を卒業した後、図書の訪問販売のセールスマンとして素晴らしい営業成績をあげ、1899年(明治32年)には自分で出版社を経営するまでに成功します。

その後大学で学んだ販売学に自らのセールスマンとしての経験を加え、1902年(明治35年)にシカゴにビジネススクールを設立して、その教科書を出版すると共に、サービスの理念を中核にした販売学をおしえる道を選びます。シェルドンは1908年(明治41年)にシカゴロータリークラブに入会しました。シカゴロータリークラブが創設された3年後です。シェルドンはロータリーに新しい経営学に基づく奉仕理念を提唱しました。シェルドンの職業奉仕理念は、継続的な事業の発展を得るためには自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営む、すなわち会社経営を、経営学の実践ととらえて原理原則に基づいた企業経営をすべきだと考えました。さらに良好な労働環境を提供するのは資本家の責務であると考え、資本家が利益を独占するのではなくて、従業員や取引に関する人たちと適正に再配分することが継続的に利益を得る方法だと考えました。これは日本の近江商人の売り手よし、買い手よし、世間よし三方よしと同じことだと気付かされました。売り手の都合だけで商いをするのではなく買い手が心の底から満足しさらに商いを通じて地域社会の発展や福利の増進に貢献しなければならない、現代こそ商人の道徳として言われてることです。経済学が確立する以前に日本にもこういう考えの人達がいたということがいえるということです。ロータリー連合会は1911年(明治44年)にそのままロータリーの奉仕理念として採択し、さらにその考え方が100年前に出来上がった理念でありながら、今日の企業活動理念と根底の部分が同じであることは驚きでもあります。その後イギリスからの批判や議論から4大奉仕が制定されシェルドンの理念が4分の1に格下げされた経緯もありシェルドンは退会していくこととなります。

職業奉仕に関しては、今後クラブ研修リーダーから、研修を受けていただく事としまして、飲食業を生活の糧としています私は、平成24年に日本人として初めてRI会長となられた株式会社ダイカ会長の田中作次さんの、スピーチを読んで感銘しましたので一部紹介させていただきます。

「私は奉仕を通じて平和をという概念に難しい哲学はないと思っています。私は哲学者ではありません。一介のビジネスマンです。ただビジネスマンとしての長年の経験から私は事業を成功させるには顧客の満足を追求する以外にないという結論に達しました。顧客に喜んでもらえば事業も成長します。そうすれば私自身も幸せになれる。しかしそれは事業が成功したからだけではなく人を幸せにしてあげることができたという認識があるからです。」

優れた企業経営者である田中氏は顧客満足こそが成功への道であるとしてました。

美味しい料理を提供する。きちんとした接客をする。社

員教育をしっかりと行う。感謝の気持ちを持つ。そしてまた、リピーターとして利用していただく。これが私の職業奉仕ではないかと思っています。

来年の3月14日にシーガイア・コンベンションセンターでI・Mが開催されます。田中作次氏が講演されますのでみなさんぜひ参加してください。

■幹事報告

幹事 青木善明君

<文書案内>

- \*米山奨学会より月間資料
- \*児湯准看護学校より戴帽式のご案内

日時 平成26年11月7日

午後2時～

場所 児湯准看護学校



■出席報告

出席委員長 長野孝吉君

出席状況 (9/4)

会 員 数	46名
出席会員数	39名
ホーム出席率	86.67%
前々回修正出席率	73.91%



■月初めのセレモニー

☆お誕生日おめでとう！

長谷川君 図師君 井上君 山口君



☆結婚記念日おめでとう！

山口君

☆古希祝おめでとう！

図師君



■BOX披露

親睦活動委員長 坂田師通君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

黒木敏之君 誕生日祝のお返しとして。

井上博功君 誕生祝のお返しとして。有難うございます。

図師義孝君 誕生祝、古希のお祝いまでして頂きありがとうございました。

福本幸良君 夢計画せっかくの準備がパーになりました。朝早くから出席して頂いた皆様に感謝いたします。又5月に実施致しますので宜しくお願いします。それと結婚祝いのお返し。

山口順一君 今日が結婚記念日です。誕生日祝とWです。お祝いありがとうございました。

藤本範行君 先日米沢上杉ロータリークラブ「いも煮会」に出席させて戴きました。餞別まで頂き有難うございます。

長谷川修身君 誕生日祝いのお返しとして。



■米沢上杉ロータリークラブ

ロータリーデー「いも煮会」参加報告

会長エレクト 藤本範行君



10月の例会案内

- 10/2 月初めのセレモニー・米山ランチ  
雑誌紹介・会員卓話—藤本範行君 理事会
- 10/9 外部卓話—新田原基地司令 尾崎義典様  
血圧測定
- 10/16 外部卓話—高鍋警察署生活安全課長 松下吉晴様  
プログラム委員会
- 10/23 地区大会報告 100万ドルランチ
- 10/30 職場訪問—(株)山口鉄工建設



歯車会ゴルフコンペのご案内

(高鍋RC担当です)

日時 平成26年11月9日(日)  
 集合時間 8時30分 スタート9時8分  
 場所 愛和宮崎ゴルフクラブ  
 参加費 2,000円  
 プレー料 9,200円(食事・ドリンク付)



本日は血液型の席順です SAA 平山君



歯車会の案内 緒方君

米沢上杉ロータリークラブの 有沢 敦会長よりお礼状が届きました。また、クラブよりお酒も送っていただきました。

## ■公式訪問クラブ協議会

### 『ロータリーに入って感動したこと すばらしい仲間の紹介』

野田俊一君

本日は、田中ガバナー、押川ガバナー補佐におかれましては、ようこそ高鍋ロータリーにお越しいただきました。

本日は、ロータリーに入会してからの約2年間で感じたことを率直に述べさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

私は、約2年前の平成24年8月2日に高鍋ロータリーに入会させていただきました。最初の入会式では、当時の函師会長からロータリーの四つのテストの額をいただきました。この内容を見た時、直感的に近江商人の三方よしを思い浮かべました。「売り手よし、買い手よし、世間よし」と、三方よしとなる商売は、良い商売で永続的な事業継続が可能になると言われています。

私が言うのも何ですが、電力会社も電気を売ることによって会社が存続しますし、お客さまも電気を使うことで安心安全な生活を送ることができますし、そのことで社会の発展につながる事業であると思っています。

まさに「三方よし」の商売であると思っております。

皆さまのお仕事もこの「三方よし」の商売であると思っておりますし、まさに、仕事を通じて職業奉仕に努めておられるものであります。今だから言えることですが、入会して最初に思ったことは、例会が毎週あることにびっくりしました。年間の例会数は48回程度開催されますが、最初は、毎週、例会に出席する理由が分からないまま出席していたのが本音です。

しかしながら、約2年間例会に出席して何となく分かったことは、いろいろな業種の方と交流できるということでありまして。ロータリーに入会して一番良かったと思っておりますことは、まさに人を知ることです。

高鍋は初めて赴任地でしたので、人も地域も何もかも分からなかったのですが、地域の重鎮の方が入会されているロータリーで、毎週お会いすることで、高鍋のいろいろなことを教えていただき、高鍋の人、地域の良さを日に感じていきました。

現在、高鍋ロータリーの会員は46名ですが、発足当時から入会されている方もいらっしゃいますので、長い方は約40年間、ロータリー活動をされている訳であります。それを数十年に亘って取り組まれている皆さまに感動しています。

昨年は、出席委員長をさせていただきましたが、毎週の例会に出席委員長が出席しないと示しが付かないと思い、やりくりしながら何とか務めることができました。そうした中で一番びっくりしたのは、島子さんが体調が悪い中、歩いて例会に出席していただいたことです。ご家族もびっくりされて駆けつけられたのを覚えています。今年の3月に島子さんは91歳になられましたが、まさに命を賭けてロータリーに出席されたわけでありまして、そ

の志は何かと思ったわけです。私が思うには、それは「人生の仲間」に会うためにご出席されているのだと思います。また、ロータリーは生活の一部になっていらっしゃるものだと思います。

高鍋ロータリーには、今年の12月に91歳になられる岩下さんもいらっしゃいます。毎回、例会に出席いただいております。岩下さんの志も島子さんと同じだと思います。

昨年度でも48回例会が開催されていますので、数十年であれば出席回数は千数百回になる訳でありまして、人によっては離れた親や兄弟に会う数より断然多いと思います。このことからロータリーの仲間は家族同様だと思いますし、何かあったら家族のように助けいただければと思います。

島子さん、そして岩下さんのロータリーに対する志には、この2年間のロータリー生活の中で一番感動させていただきました。

高鍋ロータリークラブに入会して思うのは、皆さんがこの高鍋を愛しており、奉仕の精神をもって、世のため人のため、そして、高鍋のために尽くされているということです。その気持ちはロータリーの皆さまだけでなく、高鍋商工会議所の皆さま、高鍋町観光協会の皆さま、そして、高鍋町役場の皆さまなど、全ての方に接して感じることです。

高鍋町は、町中が本当に綺麗だと思います。毎月、会社のボランティア活動で営業所周辺のゴミ拾いを実施していますが、ゴミがなかなか無くて、ゴミを探してまわるほどであります。また、海、川、山があり、食事もおいしいし、住んでいる人もすばらしい、永住する場所としては最高だと思います。

歴史と文教の城下町、高鍋町は、ロータリーの皆さまの志がある限り、ますます繁栄すると信じています。

最後になりますが、今回、ガバナー訪問に当たりまして、この発表の機会を与えていただきまして、改めてロータリーを見つめ直すことができました。

そして、改めてロータリーの皆さんと仲間になれたことを感謝しております。

今後ともよろしくお願いたします。

#### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1、真実かどうか
- 2、みんなに公平か
- 3、好意と友情を深めるか
- 4、みんなのためになるかどうか